

平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科高校の特色を活かし、魅力ある授業の充実と生徒の進路実現で生徒の学ぶ力と自信を育む学校。
健全な市民を育成し、地域や社会を活性化する有能な人材を輩出する、地域から信頼される学校。
地域との連携、地域への貢献で生徒の自己有用感、自己効力感の育成を実践する学校。

<本校の教育目標>

生徒が生きる力と自信を高め、目標に向け前向きに努力する意識と力を育成する

- 1 生徒が学ぶ喜びと学ぶ力を高め、希望する進路を実現する力を育成する
- 2 豊かな心と人権意識を身につけ、将来、社会や地域に貢献できる生徒を育成する
- 3 共生推進教室を軸に「ともに学び、ともに育つ」インクルーシブ教育を実践する
- 4 学校と保護者・地域が連携し、ともに生徒の成長を支援する開かれた学校として府民から信頼される学校づくりを行う

2 中期的目標

2021年度を目標に、更なる本校の取組みの充実をめざすための3年間を見据えた中期目標とする。

生徒が生きる力と自信を高め、目標に向け前向きに努力する意識と力を育成する

1. 生徒が学ぶ喜びと学ぶ力を高め、希望する進路を実現する力を育成する

(1) 魅力ある系列・授業で生徒自身の将来の可能性との出会い

「わかる授業」を通じて基礎学力を向上させ、生徒の高校生活や進路への自信を育む

総合学科の特色を活かした魅力ある授業づくりで生徒の学習意欲、学ぶ力の向上と進路実現へ向けての実力の育成

ア 各系列のさらなる特性を生かした地域貢献の取組みや、授業での外部講師等の活用で魅力ある総合学科の充実をおこなう。

イ きめ細かい指導で生徒の学習への意欲、習慣、興味・関心の向上で進路実現に必要な基礎学力、学ぶ力の向上

ウ 教員の教材研究・研究授業の活性化、授業力向上のための校内研修、授業アンケートの活用、公開授業、教員同士の授業観察等により教員の授業力の向上をめざす。

エ 生徒向け学校教育自己診断における学習指導の肯定感の平均を向上させ、2021年度には60%以上の肯定感を維持する。(H30 61.5%)

オ 英検、漢検、系列での各種資格・検定などへの生徒の興味付けを進め、生徒の学習面での伸びしろを引き出す取組みを行う。

(2) 入学から卒業まで3年間を見越したキャリア教育の実践...生徒の多様な進路実現への支援

中退率の減少 ...生徒の基本的な生活習慣や中高連携、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用等を通して中退防止に努める。

今後3年間で中退率府平均2%以下(平成30年度2.3%)を維持する。

進路未決定者の減少 ...高校生活3年間を見越したキャリア教育を実践して生徒の進路意識を高め、進路未決定率8%以下の維持

就職決定者の増加 ...高校生活3年間を見越したキャリア教育の充実、応募前職場見学の実施によって、就職内定率100%(H30 98.2%)を毎年維持する。

大学進学の実現 ...「未来創造室」を活用し大学・短期大学への進学情報の提供と補講等の充実により、進学希望者をサポートする。

指定校推薦、AO入試等生徒への入試情報の提供で大学入学希望者の希望大学への入学支援の充実。

2. 豊かな心と人権意識を身につけ、将来、社会や地域に貢献できる生徒を育成する

(1) 公共心と規律性を備えた樟風生を育てる ...取組みの重点項目、授業規律 欠席・遅刻指導 服装・頭髪指導 あいさつの励行

挨拶励行運動で「あいさつの樟風生」の気風を育む。

遅刻者総数については、平成30年度(1524名2学期末値)から現状を維持しながら、2021年度には年間遅刻者数1,600代をめざす。

(2) 生徒による学校の活性化で生徒の愛校心(帰属意識)の向上

クラス活動の活性化...体育祭・文化祭等の行事や日々のホームルームを通じてクラス活動の活性化を行う。

生徒向け学校教育自己診断において、平成30年度は56.6%だった「クラス活動は活発である」の肯定感を2021年度には肯定感60%以上をめざす。

生徒会活動の活性化...毎日の挨拶運動や学校行事の企画・運営など現在の生徒会執行部の活動を継続・強化していく。

生徒会が中心となって「生徒による学校活性化プロジェクト」を開始、創立20周年に向けたプランニングの作成。

生徒向け学校教育自己診断において、平成30年度は53.7%だった自主活動に関する項目の肯定感の平均を向上させ、2021年度には肯定感60%以上をめざす。

クラブ活動の活性化...平成30年度のクラブ加入率は46.1%と前年度より増加した。平成31年度からも体験入部の工夫や積極的な勧誘によって新入生のクラブ加入率を高めていく。クラブ加入率を毎年向上させ、2021年度には、50%以上をめざす。

(3) 地域連携・地域貢献で生徒の自己有用感、自己効力感の育成 ...幼・保・小・中・大の各学校や、自治体、地域教育協議会、地元商店街などと連携し、地域行事にも積極的に生徒が参加することで、生徒の自己有用感や自己効力感、自他への肯定感を育む。また各系列の特色ある学習の取組みや生徒会活動を通じ地域貢献を推し進め、地域から信頼される学校をめざす。

生徒向け学校教育自己診断において、平成30年度は56.5%だった地域連携に関する肯定感の平均を2021年度には60%以上の肯定感をめざす。

(4) 人権教育の更なる充実 ...障がい者理解、同和問題や在日外国人問題など人権HRを充実させることで生徒の人権意識を育み、豊かな心と人権感覚豊かな生徒の育成。

生徒向け学校教育自己診断において、平成30年度は70.6%だった人権教育に関する肯定感の平均を毎年70%以上に維持する。

<p>(5)教育相談活動の充実...教育相談委員会と学年の連携による一層の生徒の教育相談活動を推進するとともに、教育相談委員会と人権教育推進委員会との連携によるいじめ防止に対する取組みの一層の充実を図る。</p> <p>3. 共生推進教室を軸に「ともに学び、ともに育つ」インクルーシブ教育を実践する</p> <p>(1)共生推進教室でインクルーシブ教育を実践する ...「ともに学び、ともに育つ」をコンセプトに学習活動や部活動、学校行事等においてインクルーシブ教育の更なる実践を推進する。</p> <p>生徒向け学校教育自己診断において、平成30年度は65.9%だった共生推進に関する肯定感の平均を60%以上に維持する。</p> <p>4. 学校と保護者・地域が連携し、ともに生徒の成長を支援する開かれた学校として府民から信頼される学校づくりを行う</p> <p>(1)家庭・保護者との連携 ...家庭との連携を密にするとともに、学校行事やPTA活動への保護者の参加率を高め、保護者と学校が協力し生徒を育てる校風をつくる。</p> <p>保護者向け学校教育自己診断において、平成30年度は44.8%だったPTA活動に関する肯定感を2021年度には55%以上にする。</p> <p>(2)校内組織の連携と情報発信力の強化 ...学校ホームページの充実、中高連携や学校説明会などの広報関係に力を入れる。</p> <p>5. 教員の働き方改革について</p> <p>府立学校において、教職員の長時間勤務の軽減に向けた働き方改革の促進として次の取組みを行う。</p> <p>(1)全校一斉退庁日の設定・ノークラブデーの明確化</p> <p>(2)時間外勤務の縮減と学校閉庁日の設定</p>

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年11月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【総論】</p> <p>○教職員の努力の結果、生徒の授業規律及び基本的生活習慣の確立など、生徒の学校生活の肯定感が高くなっている。</p> <p>○学校教育自己診断の提出率は、生徒はH30年度とほぼ同等の96.5%であった。保護者はH30年度の45.0%から57.3%に増加した。教職員は100%であった。</p> <p>○生徒においては、ほぼ全ての項目で肯定感が増加しており、特に生徒指導及び学習指導、人権教育が大きく増加した。全教員が一枚岩で生徒指導、学習指導に取り組んだ結果であると考えられる。地域連携の項目について減少しているが、授業・部活動等での地域連携については活発化しているので、さらに魅力のある取組みを創出する事が必要である。</p> <p>○保護者においては、全ての項目で肯定感が増加しており、特に地域連携と情報提供が増加している。学校ブログやケータイ連絡網で毎日、学年から情報を配信している効果の表れであると考えられる。</p> <p>○教職員においては、3分の2の項目で肯定感が減少した。増加した項目は、教育相談と情報提供である。</p> <p>【学習指導】</p> <p>○生徒においては、8項目中5項目が増加し、平均も4.3%増加した。特に、「授業規律」が78.1%と昨年度より9.9%増加している。学校をあげての授業規律を大切にしている取り組みの結果である。「授業の工夫」、「学習評価」についても増加しており、教職員の日々の取り組みが生徒達に良い影響を与えていることを示している。</p> <p>○保護者においては、全ての項目が増加し、平均で7.8%増加した。「授業規律」が72.9%と生徒と同様に昨年度より増加している。「興味・関心のある授業」、「授業のわかりやすさ楽しさ」、「授業評価」も増加しており、授業の様子が生徒を通じて保護者に伝わっているためと考えられる。</p> <p>【生徒指導】</p> <p>○遅刻の激減、頭髪・服装違反者の激減、授業規律の確立がなされ、生徒たちは落ち着いた雰囲気の中で学校生活をおくることができている。</p> <p>○生徒においては、全項目で肯定感が増加しており、平均も6.9%増加した。特に「基本的生活習慣の確立」、「協力した生徒指導」、「いじめへの対応」の項目が大きく増加しており、日々の取り組みの積み重ねが反映されている。</p> <p>○保護者においては、ほぼ全ての項目で肯定感が増加している。今後も本校の生徒指導の方針について保護者の理解と協力を得ながら生徒指導に取り組んでいく必要がある。</p> <p>○教職員の生徒指導に関する肯定感は全体的に昨年度より増加した。特に、「外部機関との連携」、「いじめ対応」、「問題行動防止の早期指導」が大きく増加している。生徒・保護者の結果からもわかるように、教職員の日々のきめ細かな対応が示されている。今後は、「中退防止」についてより取り組んでいく必要がある。</p> <p>【情報提供】</p> <p>生徒・保護者・教職員において、増加した。学校ブログの開設等、情報発信の強化が評価されたと考えられる。</p>	<p>第1回 6/12(水)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校運営協議会について 2 保護者からの意見書の提出状況について：なし 3 学校の現状と課題について 4 学校協議会委員からの意見・提言等 <p>【体育祭について】</p> <p>210名もの保護者が見学に来られたことは、保護者も学校に対して好意的であることを示しており、先生方の日頃の活動が認められていると感じている。</p> <p>【学校の指導について】</p> <p>○学習指導、生徒指導等、生徒たちに丁寧に指導していることは大切なことである。指導の成果として、生徒の様子は良くなっていると感じている。</p> <p>【広報活動について】</p> <p>学校ブログでの情報発信は、中学生への広報として、重要である。今後とも更に充実していただきたい。</p> <p>【SSW(スクールソーシャルワーカー)について】</p> <p>○SSWを配置しての生徒への支援活動は素晴らしいものである。SSWの活用が円滑に進むように校内体制の整備も並行して進めていただきたい。</p> <p>第2回 11/22(金)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業見学 2 保護者からの意見書の提出状況について：なし 3 平成31年度学校経営計画の進捗状況について教頭より説明 4 本校の学校経営方針、育む生徒像について校長より説明 <p>学校協議会からの意見・提言等</p> <p>【学習支援について】</p> <p>○支援が必要な生徒の情報を教員間で共有し、教科指導にも役立てていることは、とても大切なことなので、これからも続けていってほしい。</p> <p>【授業について】</p> <p>○授業は、生徒たちもしっかりと取り組んでおり、良い雰囲気の中で行われている。</p> <p>【校内の様子について】</p> <p>校内は清掃ができており、きれいな状態で学校生活ができていると感じている。</p> <p>【自己肯定感・自己有用感について】</p> <p>○生徒をほめて自己肯定感、自己有用感を育てることは大切なことである。</p> <p>第3回 2/14(金)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保護者からの意見書の提出状況について：なし 2 今年度の活動と学校教育自己診断の結果について 3 令和2年度の学校経営計画について 4 学校協議会委員からの意見・提言等 <p>【学校教育自己診断の結果分析について】</p> <p>○生徒、保護者の結果が10%近く上昇している項目も多くあり、学校が良くなって来ていると考えられる。この結果を維持できるように頑張ってもらいたい。</p> <p>【中学生への広報について】</p> <p>○「農と自然」系列など本校の特色ある授業をもっと中学生にアピールして、枚岡樟風高校を知ってもらうように広報に取り組んでほしい。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 生徒が学ぶ喜びと学ぶ力を高め、希望する進路を実現する力を育成する</p>	<p>(1) 魅力ある系列・授業で生徒自身の将来の可能性との出会い</p>	<p>ア 総合学科の特色を活かした魅力ある授業づくりで生徒の学習意欲、学ぶ力の向上と進路実現へ向けての学力の育成 イ 7つの系列のさらなる特性を生かした取組みや系列での地域貢献や授業での外部講師等の活用で魅力ある総合学科の充実をおこなう。 ・「探究」等の生徒の学びの成果を発表する機会を充実させる。 ウ 系列での実践をホームページ等でリアルタイムで発信する エ きめ細かい指導で生徒の学習への意欲、習慣、興味・関心を向上させ進路実現に必要な基礎学力の向上 オ 授業力向上のため年 2 回授業アンケートを実施し、振り返りシートをもとに授業改善をめざす。 カ 公開授業週間を通じて、教職員同士で授業観察を行い、授業観察シートを提出させる。 キ 英検など各種資格・検定などへの生徒の興味付けを進め、生徒の学習面での伸びしろを引き出す取組を行う。</p>	<p>ア・イ 学校教育自己診断の全般（学校に行くのが楽しい、この学校に入学してよかった等の項目）が 60%以上を維持。 (H30: 62.5%) ・ 系列の専門性と多様性の向上 オ 教員の授業振り返りシートの提出率の維持 (H30: 100%) 教員の授業観察件数の増加 (H30: 38 件) 生徒向け学校教育自己診断の学習指導の肯定 60%以上の維持 (H30: 61.5%)</p>	<p>ア・イ 学校教育自己診断の全般が 64.2%で 1.7%増加した。() オ 教員の授業振り返りシートの提出率 100% () ・ 教員の授業観察件数が 60 件に増加した。() ・ 生徒向け学校教育自己診断の学習指導が 65.8%で 4.3%増加した () 【課題】生徒向け学校教育自己診断の結果は増加しており、学校生活に肯定的な生徒が増加している。教員相互の授業観察や振り返りをより積極的に実施して、授業力を向上させていく。</p>
	<p>(2) 入学から卒業まで 3 年間を見越したキャリア教育の実践</p>	<p>中退率の減少 ア 毎月の教育相談委員会に中退防止の視点を加え、学年との連携を強化する。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを活用した教育相談体制の強化。 イ 家庭との連絡、家庭訪問の状況、家庭状況の把握等を丁寧に行い、社会福祉施設等の関係機関とも連携も行う。 ウ 生徒の出身中学校との連携を強化し生徒支援の助言を得る。 進路未決定者の減少と就職決定者の増加 ア 「未来創造室」を有効に利用した指導で、進路未決定率を減少させる。 イ 進路指導部と学年、系列で連携した入学から卒業までを見越したキャリア教育を行っていく。 ・ 1 年次より、各分野の講師を招いての講演会を開催し、生徒の進路意識を高めていく。また、1 年次は産業社会と人間で、前期のガイダンス指導を徹底し系列選択のミスマッチをなくす。後期の系列別授業の強化を行い、2 年次以降の系列での学習と目標とする進路のマッチングを行っていく。 ・ 2 年次では、インターンシップ、オープンキャンパスへの積極的な参加への推進を行い、進路実現へのモチベーションを向上させる。系列の学習内容を大学・専門学校など学校外の資源を十分に活用しながら充実させる。 ・ 3 年次では、進路指導部と系列が連携した進路指導・就職指導を行い、面接指導・応募前職場見学参加指導を充実させ進路実現の実績を向上させる。 大学・短期大学の合格者輩出 ア 「未来創造室」を有効に活用する。 指定校推薦、AO 入試等きめ細かな進学情報の提供を活発に行う。 1 年次から学力生活実態調査を実施し、個々の生徒の学力状況を把握し、状況に応じた指導を行う。 イ 保護者向けの進学説明会を実施し、経済的な面を含めて、大学進学に向けて家庭の協力を得られるようにする。 ウ 長期休業中は、講習を開催する。</p>	<p>中退率の減少 中退率の減少 2.0%未満 (H30: 2.3%) ア～エ 教育相談委員会の開催回数の維持 (H30: 11 回) ウ 中高連携の緊密化 (H30 出前授業 2 回、中学校での学校説明会 3 回) 進路未決定者の減少と就職決定者の増加 ア・イ ・ 進路未決定者の割合 7.0%未満を維持 ・ 就職内定率 95%以上 ・ 就職試験一次合格率 70%以上を維持 ・ インターンシップ参加者数の推進 大学・短期大学の合格者輩出 ア・イ 大学合格実績合格者輩出 ・ 大学進学希望者へのきめ細かい進路情報の提供で、希望大学への進学実現。 ・ 進路説明会回数 (H30: 2 回) ウ 夏期・冬季講習 30 名以上の参加 (H30: 38 名)</p>	<p>中退率は 2.5%であった。() 教育相談委員会の開催は 11 回であった。() SSW 委員会も 6 回開催されている。 ウ 出前授業 2 回、中学校での学校説明会 3 回で、さらに中学との連携が必要である。() 進路未決定者の減少と就職決定者の減少 ア・イ ・ 進路未決定者の割合 13.3% () ・ 就職内定率 100% () ・ 就職試験一次合格率 78.4% () ・ インターンシップ参加者数 38 名 () 【課題】就職一次合格率が少し増加した。生徒の希望と求人のある職種のミスマッチを少なくし、就職試験に対応した基礎学力の向上をより一層進めていく。 ア、イ大学の合格実績 () ・ 大学進学希望者への進路情報の提供で、希望大学への進学を実現した。 【課題】昨年度に続き、定員数の厳格化に伴い、大学進学は困難な状況が続いており、合格を勝ち取れるよう実力をつけるとともに、指定校推薦制度の活用や AO 入試対策を行うようにする。 ・ 保護者向け進路説明会: 3 回開催 () ・ 夏季・冬季講習の参加者: 32 名 (3 年 8 名、2 年 24 名) ()</p>

<p>2 豊かな心と人権意識を身につけ、将来、社会や地域に貢献できる生徒を育成する</p>	<p>(1) 公共心と規律性を備えた樟風生を育てる。</p> <p>(2) 生徒による学校の活性化で生徒の愛校心の向上</p> <p>(3) 地域連携・地域貢献で生徒の自己有用感、自己効力感の育成</p>	<p>(1) 授業規律、欠席・遅刻の減少、服装・頭髪指導・あいさつ</p> <p>ア 生徒会、全教職員による挨拶励行運動で「あいさつの樟風生」の気風をつくるとともに、生徒の学校生活への規範意識を育む。</p> <p>イ 登校指導の充実や遅刻過多者への早朝指導及び放課後指導を引き続き徹底し、遅刻者を減少させる。</p> <p>ウ 服装・頭髪指導の学年間の基準の統一に努めるとともに、イエローカード制度の運用に関しての教職員の認識を共有化して、生徒の規律性の育成を図る。</p> <p>エ 問題事象について事例検討会を開催し、問題事象への対応方法や指導方針に関して教職員全体の共有化を図る。</p> <p>クラス活動の活性化</p> <p>ア 年間ホームルーム計画を作成し、ホームルーム活動を活性化させる。</p> <p>イ 遠足・体育祭・文化祭という行事を中心に担任間の連携を強化し、クラス活動の活性化を図る。</p> <p>ウ 保健部が中心となり毎日の清掃等の徹底を図る。</p> <p>生徒会活動の活性化</p> <p>ア 体育祭・文化祭・学校説明会などで生徒会の役割を増やし、生徒会の強化を行う。</p> <p>イ 体育祭や文化祭等の学校行事を一層活性化して、生徒の学校行事における自己達成感を高める。</p> <p>ウ 朝の挨拶運動、生徒会通信の発行等を恒常的に行い、生徒会活動の活性化を行う。</p> <p>エ 生徒会が中心となって「生徒による学校活性化プロジェクト」を開始創立20周年に向けた具体の取組み</p> <p>クラブ活動の活性化</p> <p>ア クラブ活動に関する情報の発信や体験入部等の工夫を通じて1年生の新規加入はもちろん年度途中の入部者を増やすことで、加入率の増加をめざす。</p> <p>系列での授業やクラブ活動・生徒会の活動を通じて積極的に地域との交流や連携・貢献を行う中で、立案や発表など生徒の社会人基礎力を醸造するとともに、地域から感謝、期待される中で自己有用感・自己効力感を高める。</p> <p>ア 枚岡中学校区及び縄手北中学校区地域教育協議会との連携を深め、秋の地域交流の企画に積極的に参加する。</p> <p>イ 福祉・保育系列や農と自然系列を中心に旭町子育て支援センターや近隣の幼稚園・保育所との交流を促進し、地域への貢献を果たす。</p> <p>ウ 農と自然系列や工業デザイン系列を中心に瓢箪山地域まちづくり協議会との連携を深め、地域への貢献を果たす。</p> <p>エ クラブや生徒会が中心となって、地域一斉清掃を瓢箪山地域まちづくり協議会と連携しながら推進し、地域への貢献を果たす。</p>	<p>(1) 授業規律、欠席・遅刻の減少、服装・頭髪指導・あいさつ</p> <p>ア～エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒のあいさつができて自己評価の調査をおこなう。 生徒向け学校教育自己診断「授業は規律正しく行われていると思う」の肯定感3ポイント以上の増加 (H30: 68.2%) 遅刻者数1600台維持 懲戒件数10%減少 (H30: 遅刻者数1980) (H30: 懲戒件数34件) 生徒向け学校教育自己診断「先生は協力して生徒指導に当たっている」の肯定感の60%以上を維持 (H30: 63.8%) <p>クラス活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒向け学校教育自己診断「クラス活動は活発である」の肯定感の増加 (H30: 56.6%) <p>生徒会活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒による学校活性化プロジェクトの検討 生徒向け学校教育自己診断「生徒会活動は活発である」の肯定感の増加 (H30: 52.5%) <p>クラブ活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 加入率50%以上 (H30: 46.1%) 生徒向け学校教育自己診断「部活動は活発である」の肯定感の増加 (H30: 62.3%) <p>系列やクラブ・生徒会で地域貢献</p> <p>ア～エ、地域連携の回数の増加 (H30: 71回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規の地域連の回数 (H30: 14回) 生徒向け学校教育自己診断の地域連携の項目の肯定感の増加 (H30: 56.5%) 	<p>(1) 授業規律は昨年度同様、格段に良くなった。頭髪、服装違反もほとんどなくなり、遅刻数も激減して、基本的生活習慣が確立してきた。懲戒件数は大きく減少している。</p> <p>ア～エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒向け学校教育自己診断「授業は規律正しく行われていると思う」の肯定感9.9%増加して78.1% () 遅刻者数は1,574 () 懲戒件数は8件 () 生徒向け学校教育自己診断「先生は協力して生徒指導に当たっている」の肯定感11.1%増加して74.9% () <p>遅刻撲滅週間、授業規律及び服装強化週間を設定しメリハリのある指導を行っている。</p> <p>【課題】教職員が協力して生徒指導を行った結果、良い傾向が継続している。次年度以降も生徒指導体制を充実させるため、各種キャンペーン指導週間の設定などの工夫を継続していく。</p> <p>体育祭や文化祭におけるクラスの催しはレベルが向上してきている。生徒向け学校教育自己診断「クラス活動は活発である」の肯定感4.4%増加して、60.8%であった。()</p> <p>【課題】ホームルーム活動と生徒会活動の連携をはかるため、生徒の委員会活動をさらに活発化していく。</p> <p>生徒向け学校教育自己診断「生徒会活動は活発である」の肯定感1.5%減少して51.0%であった。()</p> <p>【課題】生徒の自主的な活動を育み、生徒会活動を活発化させ、創立20周年記念行事を成功させたい。</p> <p>情報発信や体験入部等の工夫を行ったが、部活動加入率は4.1%減少して42.0%であった。()</p> <p>生徒向け学校教育自己診断「部活動は活発である」の肯定感5.1%増加して、68.4%であった。()</p> <p>【課題】部活動は年々活性化しており、全国大会に出場する部もあった。4月の新入生歓迎会のクラブ紹介や体験入部日などを設けて、クラブへの勧誘をおこなったが、加入率は横ばい傾向である。新入生勧誘にさらに力を入れる必要がある。</p> <p>ア～エ 地域連携の回数は72回であり()、新規の地域連携の回数は、1回であった(ボッチャの講習会が新規で行われた)()</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒向け学校教育自己診断の地域連携の項目の肯定感5.3%減少して51.2%であった。() <p>【課題】各系列や部活動で地域貢献しているが、生徒たちが積極的に活動に参加できる体制を構築する必要がある。</p>
---------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

府立枚岡樟風高等学校

<p>2 豊かな心と人権意識を身につけ、将来、社会や地域に貢献できる生徒を育成する</p>	<p>(4) 人権教育の更なる充実 (5) 教育相談活動の充実</p>	<p>ア 人権HR計画に基づいて、障がい者理解、同和問題や在日外国人問題、新しい人権問題などを人権HRで扱い、生徒の人権意識を高める。 ア 教育相談委員会と学年の連携による一層の生徒の教育相談活動を推進 イ 教育相談委員会と人権教育推進委員会との連携によるいじめ防止に対する取組みの一層の充実を図る。</p>	<p>人権教育の更なる充実 ア～ウ 学校教育自己診断の人権教育項目の肯定感平均の70%以上の維持 (H30:70.6%) ア 毎月スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも交えた教育相談委員会の開催 イ いじめ防止委員会の定例化(学期1回の開催) ウ いじめアンケートの年2回の実施</p>	<p>ア 生徒向け学校教育自己診断の人権教育の項目の肯定感は、4.7%増加して、75.3%であった。() 全学年での人権研修の実施などの取り組みが活発化した結果であると考えられる。今後、より一層の取り組みを進めたい。 ア 教育相談委員会は年11回開催予定、SSW委員会も年9回開催予定ある。() イ いじめ防止委員会は、3回開催し、いじめ事象の検討を行い、事態の解決ができた。() ウ いじめアンケートは2回実施した。また、アンケート結果についてはいじめ防止委員会で検討し、適切に対応することができた。()</p>
<p>3 インクルーシブ教育を実践する</p>	<p>(1) 共生推進教室でインクルーシブ教育を実践する</p>	<p>「ともに学び、ともに育つ」インクルーシブ教育を実践 ア 共生推進教室生徒の成長を促すことで、併せて、総合学科生徒の人権教育を推進する。 イ インクルーシブ・ルームを活用しての教職員研修の実施 ウ インクルーシブ・ルームを活用してのアクティブ・ラーニングなどの授業実践。 エ 新入生のクラス開き・学年開きで共生推進教室の生徒や配慮を要する生徒の紹介を行う。 オ 日常的なクラス活動・クラブ活動・授業などで、配慮を要する生徒と共に学校生活を送る経験を積み、互いの理解の促進を図る。</p>	<p>ア～ウ ・ 生徒向け学校教育自己診断の共生推進項目の増加(H30:65.9%) ・ 総合学科の卒業率の増加(H30:84.2%) ・ 共生推進教室の一斉授業の肯定感の増加(H30:50.0%)</p>	<p>(1) インクルーシブ教育の実践 ア～ウ 生徒向け学校教育自己診断の共生推進項目の肯定感平均は66.5%で0.6%増加した。() ・ 総合学科の卒業率80.4%() ・ 共生推進教室3年生の企業就労:100%。() ・ 共生推進教室の一斉授業の肯定感は、100%であった。() 【課題】共生推進教室生徒の活動の紹介など、総合学科の生徒たちに普段とともに学んでいる生徒たちの活躍やその困難さをより理解させ、インクルーシブ教育システムを構築していく。</p>
<p>4 学校と保護者・地域が連携し、ともに生徒の成長を支援する開かれた学校として府民から信頼される学校づくりを行う</p>	<p>(1) 家庭・保護者との連携 (2) 校内組織の連携と情報発信力の強化</p>	<p>(1) 学校の情報を発信し、PTA活動や学校行事への保護者の参画率を高める。 ア 授業参観への参画率を高める。 イ 体育祭や文化祭など、学校行事への参画率を高める。 ウ PTA活動への参画率を高める。 (2) 校内組織の連携と情報発信力の強化 ア ホームページの充実、中高連携や学校説明会などの広報関係に力を入れ、学校情報を更に発信し地域から信頼される学校をめざす。 イ 学校説明会、出前授業で学校の取組情報の発信</p>	<p>(1) 保護者の参画率の向上 ア～ウ ・ 保護者向け学校教育自己診断において、参画に関する肯定感の増加(H30は44.8%) ・ 学校教育自己診断の保護者提出率の増加(H30:45.0%) (2) 校内組織の連携と情報発信力の強化 ア 学校ホームページの充実と保護者学校メーリングリストの保護者加入書の増加 イ 学校説明会の参加者数の500名以上(H30:459名)</p>	<p>ア～ウ 保護者向け学校教育自己診断の参画の肯定感平均は52.7%で9.0%増加した。() ・ 学校教育自己診断の保護者提出率は、57.3%で12.3%増加した。() 【課題】生徒の肯定館の増加とともに保護者の肯定感も増加しており、学校に対する関心が高まっている。今後とも保護者と学校がより良く連携できるようにしていきたい。 ア 学校ホームページでは学校ブログを開設し、系列の授業や、部活動の紹介を積極的に行った。() イ 第3回までの参加者は483名で、上回った。()</p>
<p>5 教員の働き方改革について</p>	<p>(1) 全校一斉退庁日・ノークラブデーの明確化 (2) 時間外勤務の縮減と学校閉庁日の設定</p>	<p>ア 本校では毎水曜日が全校一斉退庁日となっている。緊急時の対応以外は午後7時までに退庁する。 イ 部活動を行わない日をクラブ毎に週1回設定をしている。各部活動のノークラブデーを掲示するなど明確化に努める。 ウ 学校閉庁日の設定</p>	<p>ア 全校一斉退庁日の徹底実施 イ 「大阪府部活動のあり方に関する方針」の順守 ウ 学校閉庁日の設定</p>	<p>・ 水曜日の全校一斉退庁日には放送等で、帰宅を促した。 ・ 部活動についてはノークラブデー一覧にして校内に掲示し、部活動の休養日を周知した。 ・ 学校閉庁日は、8月11日～13日、12月28日～30日で設定した。</p>